

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.75

調査者	松木 良介、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2021 年 3 月 18 日
情報ソースの調査日	2021 年 4 月 13 日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2021 年 4 月 17 日
日本語タイトル	COVID-19 患者における退院後 6 か月での持続的な症状を評価するための心肺運動負荷試験—パイロットスタディ
情報ソース	Debeaumont D, et al. Cardiopulmonary Exercise Testing to Assess Persistent Symptoms at 6 Months in People With COVID-19 Who Survived Hospitalization - A Pilot Study. Phys Ther. 2021 Mar 18;pzab099. Epub ahead of print.
情報のカテゴリ	その他
発信地域	アメリカ(北米)
URL	https://academic.oup.com/ptj/advance-article/doi/10.1093/ptj/pzab099/6177705
要約	<ul style="list-style-type: none"> • 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)患者における退院後 6 か月での機能性呼吸困難と体力との関連について評価された。 • 対象は、COVID-19 にて入院後、心肺運動負荷試験検査(CPET)が実施された 23 例である。退院後 6 か月時に mMRC スケールによる呼吸困難と CPET 検査結果との関連について後方視的に調査された。 • 平均 mMRC 呼吸困難スコアは 1 (SD = 1)で、これは Peak $\dot{V}O_2$ と有意に関連していた ($r = -0.49$)。6 か月時点で、一般病棟に入院した患者の Peak $\dot{V}O_2$ は、年齢標準値の 87%、集中治療室 (ICU) に入院した患者の Peak $\dot{V}O_2$ は、年齢標準値の 77%であった。全患者で呼吸当量は高く、power-to-weight ratios (Watts/weight) は低く、また ICU 滞在患者の換気効率、比較的低い値を示した (平均 VE/VCO_2 slope = 34 [SD = 5])。呼吸予備能 15% または 11 L/min 未満はおらず、全例正常な運動心電図を示し、23 名中 4 名の心拍数は 90% を超えていた。 • COVID-19 患者の退院後 6 か月時点、持続性呼吸困難は体力の低下と関連していた。 • 本研究は、持続性呼吸困難に関連する身体的制限の根底にあるメカニズムについて、病態生理学的な新たな手がかりを提示します。